



ゲーム説明書

所要時間 : 30分
 プレイ人数 : 3~5人
 対象年齢 : 8歳以上

セット内容

- ①カード・・・・・・・・ 44枚
- ②切り札カード・・・・ 5枚
- ③特殊カード・・・・ 1枚
- ④説明書(本書)・・ 1部

ゲームの概要

あなたはとある王国の王室錬金研究所に所属している、錬金術師の見習いです。ある時、国王が言いました。「財政が圧迫している今、施設の無駄な費用は削る」そして錬金研究所では、役に立たない錬金術師は解雇していくことになりました。あなたは、時には自分でかき集めた材料、時には様々な実力者の協力で作った錬金術の品などを国王にアピールしていくことになります。

そうして、最終的にもっとも勝利点が多かったプレイヤーが勝利者となります。

アイコンの説明



王の印証

各カードに設定されている勝利点です。各プレイヤーは勝利点を獲得するのが目的です。調合に成功すると多くの勝利点を獲得できます。



材料カード、製法カード、魅惑の踊り子カードに設定されているマーク(スーツ)です。スーツは4種類ありますが、スーツの違いによる強弱はありません

遊び方



準備

全てのカード、切り札を裏返してよくシャッフルし、1つのカード山を作ります。そしてプレイヤー数に合わせて以下の枚数だけ裏返しのままカード山から抜き取ります。

- 3人で遊ぶ: 5枚抜きます
- 4人で遊ぶ: 2枚抜きます
- 5人で遊ぶ: 全てのカードを使います

残ったカードを全員に均等に配ります。配られたカードは手札となります。手札は他の人には見せないようにしましょう。

次に、自分の手札の中から1枚好きなカードを選びます。そして全員同時にそのカードを場に出します。このカードは、このあと行われるゲームに関係なく、無条件に自分が獲得したカードとなります。自分でどうしても獲得しておきたいカードなどを選ぶとよいでしょう。

そして次に、最初に行動をするプレイヤー(スタートプレイヤー)を決めます。スタートプレイヤーは「最近作った料理が一番美味しそうな人」です。特に決まらない場合はじゃんけんなどで決めます。

これで準備が整いました。

プレイの手順

このゲームは各プレイヤーが手札から1枚ずつカードを出していく「小ゲーム」(トリックと呼びます)と、トリックを手札がなくなるまで繰り返して総得点を競う「セット」の2つの段階があります。ゲームは3セット行い、3セット分の総得点で最終的な勝敗が決定されます。

1. まずスタートプレイヤーは手札からカードを場に1枚出します。カードにはそれぞれ強さがあり、それによって勝敗が決まります(後述)勝利できるようによく考えて出していきましょう。
2. プレイする順番は、時計回り(行動したプレイヤーの左隣が次のプレイヤー)です。順番が回ってきたら、手札から1枚カードを出します。このとき、以下の行動を取るようになります。
 - a) スタートプレイヤーの出したカードと同じ色・マーク(スーツと呼びます)のカードを1枚でも持っていた場合はその中からカードを1枚選んで出します。
 - b) もし同じスーツのカードが1枚もない場合は「持っていない」ことを宣言し、違うスーツのカードを出します。違うスーツのカードを出したプレイヤーは、このトリックは即座に敗北となります。

カードの説明

材料カード



- ①材料カードを示す名前
- ②そのカードのスーツと、カードの強さ(数字が大きいほど強い)
- ③そのカードの持つ勝利点
- ④そのカードを錬金術の材料として使う時の具体的な材料

製法カード



- ①製法カードを示す名前
- ②そのカードのスーツと、カードの強さ(数字が大きいほど強い)
- ③そのカードの持つ勝利点
- ④この製法で作られる品
- ⑤錬金術の調合として使うことができる製法とその材料
- ⑥実際にその調合に成功したときにできる品と獲得できる勝利点

切り札カード



- ①切り札カードを示す名前
- ②カードの強さ(数字が大きいほど強い)
- ③切り札のキャラクター名
- ④そのカードの持つ勝利点
- ⑤錬金術の調合として使うことができる製法とその材料
- ⑥実際にその調合に成功したときにできる品と獲得できる勝利点

魅惑の踊り子カード



- ①魅惑の踊り子を示す名前
- ②スーツとカードの強さ。魅惑の踊り子は種類を宣言することでどのスーツとしても使用できる
- ③キャラクター名
- ④そのカードの持つ勝利点
- ⑤錬金術の調合として使うことができる製法とその材料
- ⑥実際にその調合に成功したときにできる品と獲得できる勝利点

- c) もし手札に「切り札」がある場合は、スタートプレイヤーの出したカードと同じスートのカードがあってもなくても、自由に出すことができます。
※切り札は無理に出さなくてもよいです。
またこのとき、手札に切り札を持っているかどうかは宣言する必要はありません。
- d) 先に切り札が出されている場合は、以降のプレイヤーは切り札を出すことになりませんが切り札は持っているでも必ず出す必要はなく、他のスートのカードを出すことができます。
※ただし、スタートプレイヤーが出したスートのカードを持っている場合は、それらのカードの中から選ばなければなりません。(a)と同じです)
同じスートのカードがない場合は好きな手札を1枚選んで出しますが、その場合このトリックは即座に敗北となります。(b)と同じです)
またこのとき、手札に切り札を持っているかどうかは宣言する必要はありません。

- e) 特別なカードとして「魅惑の踊り子」があります。このカードは、全ての切り札よりも強い唯一のカードです。もし先に場に切り札が出されている場合、「魅惑の踊り子」を出すとカードの数字の大きさに関係なく、必ずそのトリックで勝利することができます。
※もし場に切り札が出されていない場合は、通常スート扱いのカードとなります。
このとき、魅惑の踊り子はいずれのスートとしても使うことができます。
場に魅惑の踊り子を出すときにどのスートとして使うか宣言してから出します。

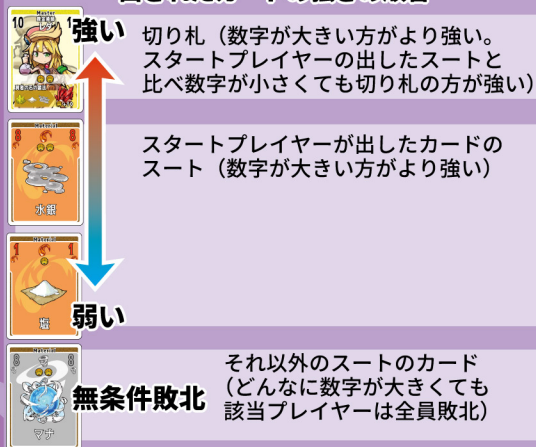
3. 全員がカードを出し終わるとそのトリックの勝敗決定となります。
勝敗はカードのスートと数字によって決まります。
強さは以下のような順番になります。

4人での場の例

スタートプレイヤー



出されたカードの強さの順番



一番強いカードを出したプレイヤーがそのトリックの勝者となります。
また、スタートプレイヤーの出したカードのスートの中で、一番小さい数字を出したプレイヤーがそのトリックの最下位となります。
(スタートプレイヤー以外の全員が無条件敗北だった場合は最下位はなしとなります)

4. トリックの勝者は、今回場に出された全プレイヤーのカードを集めその中にある「自分の出したカードの数字以下のカード」の中から、好きなカードを2枚選び獲得します。数字が小さければたとえ違うスートや切り札であっても自由に獲得できます。
切り札を出して勝利したときは自分のカードより小さい数字のカードが1枚もない場合がありますが、そのときは自分の出した切り札のみ獲得となります。

次にトリックの勝者は、場に残っているカードの中から1枚選び、このトリックの最下位プレイヤーに渡します。

※このとき渡すカードにはスートや数字の制限はなく、どのカードでも渡せます。

選ばれなかった残りのカードは捨て札として表向きのまま横によけておきます。

5. 次に、トリックの勝者がスタートプレイヤーとなって次のトリックを開始します。同じように繰り返し、全プレイヤーの手札が全てなくなるまで行ったら得点計算に移ります。



得点計算

6. 得点計算は次の「カードの合計勝利点」と「調合成功勝利点」の2つで行います。

1. カードの合計勝利点

まず、獲得したカードに描かれている勝利点の合計を出し記録しておきます。



2. 調合成功勝利点

製法カードおよび切り札には、特定の材料を集めることで特別な錬金術の品を調合でき、ボーナス点が得られる「製法」が書かれています。
獲得したカードの中から材料カードを選び、該当する製法カードの上に乗せていきます。全ての必要材料を載せることができた製法は「調合成功」となり、「製法に書かれているボーナス点」が調合成功点として獲得できます。

製法と材料さえあればいくつでも調合を行えますが、一度使った製法カード、材料カードは使えません。



薬草と液体、ポーションの製法を持っていたら…

調合してポーションを作成！
勝利点を5点獲得します。

得点計算例



+9点

② 調合成功勝利点を確認します

① 獲得したカードに記載の、「王の印証」の数を数えます



+10点

+0点
製法カードがあっても、材料がないので調合できません

+0点
材料カードがあっても、製法がないので調合できません

①+②=このセットの点数

9+10=19点

エリクサーに該当する材料を持っているので、調合に成功し、勝利点10点を獲得！

「カードの合計勝利点」「調合成功勝利点」の合計が最終的な勝利点となります。

7. 上記までの一連の行為で1セットとします。これを3セット行います。(2、3セット目のスタートプレイヤーは直前のトリックの勝者)

総合計勝利点が多くなるプレイヤーが最終的な勝利者です。

Gemini Games



製作・著作

ジェミニゲームズ
きつねギアゲームズ

ゲームデザイン

ヨシケシインイチ

キャラクター・ロゴデザイン

高見沢くら

アイテムデザイン

宇宙くじら

Mail : secbaseins@gmail.com

Twitter : @secbaselab